

I 平成 28 年度 事業報告書

1 事業の概要

概 況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成 7 年 3 月に設立され、市民、関係団体、行政などとの連携を図りながら、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

具体的には、国際親善姉妹都市アナハイム市との交流 40 周年の節目を迎え、両市間の一層の交流促進を図る記念事業などを実施したほか、国際交流団体等の活動への支援や外国人市民への支援に重点を置くとともに、地域住民と外国人との交流の場の創出や各国の文化への理解を深めるための国際理解講座等の開催、多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

また、水戸市から指定管理者の指定を受けている国際交流センターの適切な管理運営と公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

市民間の交流、相互理解、友好親善を目的に、国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市との交流をさらに深めました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

(ア) アナハイム市親善訪問団の派遣

期 間：平成 28 年 10 月 16 日(日)～10 月 23 日(日) 8 日間

派 遣 先：アナハイム、ロサンゼルス、サンディエゴ

内 容：姉妹都市交流締結 40 周年記念式典及びレセプション、アナハイム市役所表敬訪問及び市議会傍聴、市内施設視察(ARTIC：アナハイム地域交通複合輸送センター、エンゼルスタジアム、コンベンションセンター、ミトスクエア、ロアラ高校ほか)、サンディエゴ市施設等視察・見学(アスター・クラシック・イベント・センター、バルボア・パーク、ミッドウェイ博物館、オールドタウンほか)、報告書発行

団 員：団 長 高橋 靖(水戸市長)

副団長 村田 進洋(市議会議長)

団 員 市民 14 人(男性 12 人、女性 2 人)

市議会議員 5人(男性4人, 女性1人)

市職員 2人(男性1人, 女性1人)

協会職員 2人(男性2人)

計 25人(男性21人, 女性4人)

(イ) アナハイム市からの親善訪問団受入 (中止)

アナハイム市側の申し出により, 訪問団の受入れは中止となった。

(ウ) 水戸市学生親善大使の派遣

応募者: 22人(中学生14人, 高校生8人)

選考試験: 平成28年5月31日(火) 書類選考, 6月5日(日) 面接・集団討論

派遣期間: 平成28年7月22日(金)~8月2日(火) 12日間

内容: アナハイム市でのホームステイ等を通じて, 市民との友好交流,

アメリカ合衆国の文化等の学習と体験, 報告書発行

派遣人数: 10人(中学生5人, 高校生3人, 団長1人, 協会職員1人)

団長: 中村 武 (水戸市立第二中学校教諭)

結団式: 平成28年7月3日(日)

研修: 事前研修 平成28年7月3日(日), 10日(日), 17日(日)

事後研修 平成28年8月21日(日)

(エ) アナハイム市学生親善大使の受入

期間: 平成28年6月25日(土)~7月5日(火) 11日間

内容: 市役所表敬訪問, 稲荷第一小学校・水戸第二中学校・智学館中等教育学校・水戸桜ノ牧高校への授業参加, 東京見学, 水戸市内施設見学(茨城大学, 水戸芸術館, 大洗海岸), 日本語教室, 着付け体験, 歓迎会など

受入人数: 8人(男子学生3人, 女子学生3人, 引率者: アナハイム市姉妹都市委員会委員2人)

滞在先: <学生> 市内に住む市民宅(6家族)にてホームステイ

<引率者> 市内ホテル

(オ) アナハイム市との教育交流事業

アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて, 水戸市教育委員会と連携しながら, アナハイム市関係機関と各種調整を行った。

採用者数: 17人(更新を含む)

採用時期: 平成28年4月1日

イ 友好交流都市重慶市との交流

(ア) 重慶市親善訪問の受入 (中止)

中国国内及び重慶市の諸事情により, 重慶市親善訪問団の受入は実施に至らなかった。

(イ) 重慶市青少年交流事業（中止）

中国国内及び重慶市の諸事情により、青少年交流事業は実施に至らなかった。

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会などを通して、国際理解を深める啓発事業を行いました。

ア 国際交流のつどいの開催

市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、日本との国交樹立 150 周年を迎えたイタリアに焦点をあて、関係団体等と連携を取りながら、イタリアの文化等を紹介する事業を同時に開催した。

(ア) 各種パネル展の開催

期 間：平成 29 年 2 月 11 日(土)～3 月 19 日(日)

観覧者数：944 人

① 国際交流団体活動紹介パネル展

内 容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。なお、3 月 11 日(土)には、「イベントデー」と称し、国際協力のためのグッズ紹介や、各団体のスタッフによる活動説明コーナーを開催した。

参加団体：22 団体

② 「イタリア」紹介展

内 容：イタリアの基本情報や歴史、文化、世界遺産を写真や関連資料などにより紹介した。

協 力：イタリア政府観光局(ENIT)

③ コーナー展示「日本国連加盟 60 年」

内 容：日本が国連に加盟して 60 年の年にあたり、「国連とは何か」について写真などの関連資料などにより紹介した。

協 力：国際連合広報センター

(イ) 講演会「イタリア美術『再生』の先駆者たち」の開催

期 日：平成 29 年 2 月 11 日(土)

講 師：松原 哲哉（常磐大学人間科学部准教授）

内 容：イタリア美術の「再生」に取り組んだ先駆者たちの活動について、ジヨットの作品を中心に紹介した。

受講者数：73 人

(ウ) 講演会「イタリアオペラの魅力と楽しみ方」の開催

期 日：平成29年3月1日(水)

講 師：谷川 佳幸（茨城大学教育学部教授）

内 容：聴衆に人気のあったイタリアオペラについて、映像を見ながら、時に実演を交えてその魅力について紹介した。

受講者数：50人

(エ) 講演会「イタリアワインの楽しみ方」の開催

期 日：平成29年3月11日(土)

講 師：植田 真未（シニア・ワイン・アドバイザー、株式会社ワインデマミ代表取締役）

内 容：イタリアはその地形の多様性から、造られるぶどうの品種もワインもバラエティに富んでいる。ワインの基礎知識をはじめとして、古い歴史を持ち、品質が高く評価されるイタリアワインについて、わかりやすく紹介した。

受講者数：40人

(オ) 料理教室「つくってみよう！イタリア料理」の開催

期 日：平成29年3月17日(金)

講 師：卜部 義範（レストランオーナーシェフ）

内 容：家庭でも作ることができるイタリア料理の基本レシピを学んだ。

受講者数：13人

イ 国際交流団体連絡会議

ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。

ウ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJ ネットワーク支援

水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク（通称：MIJ ネットワーク）」の活動を支援した。

内 容：日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う会議等の活動を支援した。

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化などについて理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国際交流パーティーを開催し、市民と外国人との交流の場の創出に努めました。また、市内小学校や地域団体に国際理解を促すため、外国人を講師として派遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座を開催した。

① ドイツ編

期 日：平成 28 年 11 月 12 日(土)

対 象：一般

内 容：ドイツ出身の方を講師に招き、日本の家庭でも作ることができるドイツ料理の調理方法を中心に、文化や習慣を学び、相互理解を深めた。(豚のロースト～オープン焼き/パンで作るクヌーデル/ロートコール～赤キャベツとリンゴの甘酸っぱい煮物)

講 師：渡邊 ロスビタ(ドイツ出身)

受講者数：16 人

② インド編

期 日：平成 29 年 1 月 29 日(土)

対 象：一般

内 容：インド文化に造詣の深い方を講師に招き、日本の家庭でも作ることができるインド料理の調理方法を中心に、文化や習慣を学び、相互理解を深めた。(チキンカレー/ほうれん草と厚揚げのカレー/チキンティッカ/レモンライス/ラッシー)

講 師：山田 桂子(茨城大学人文学部教授)

受講者数：13 人

(イ) 親と子の国際講座 (水戸ユネスコ協会青年部と共催)

小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。

① 世界まる見え！ユネスコツアー2016

期 日：平成 28 年 6 月 25 日(土)

対 象：小学生とその保護者

内 容：4 か国(韓国, アメリカ, ブルガリア, インドネシア)に焦点を当て、各国出身の留学生や茨城大学の学生が、クイズ形式で各国文化や言語を紹介した。また、韓国料理の「チヂミ」を作り、試食した。

受講者数：28人（子ども17人，保護者11人）

② 留学生と学ぼう！遊ぼう！ユネスコ万国博覧会！

期 日：平成28年12月17日（土）

対 象：小学生とその保護者

内 容：3か国（イギリス，カナダ，韓国）に焦点をあて，各国出身の留学生が自国の文化を紹介するとともに，各国の遊びを楽しみながら，交流を行った。また，メキシコ料理「タコス」を作り，試食した。

受講者数：31人（子ども18人，保護者13人）

（ウ）世界とつながる子ども教室

多くの子どものために早期英語学習の機会を提供するとともに，語学学習だけではなく，コミュニケーションツールとしての英語に親しんでもらうことを目的として，世界のあらゆる人々との交流が可能となることを知ってもらう講座を開催した。

① プチ体験！英語で授業（夏休み）

期 日：平成28年8月13日（土），14日（日）

対 象：小学生（低学年，中学年）

内 容：歌やゲームなどの活動を通して，英語に慣れ親しんだ。

講 師：エレナ・マックイーン（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）

ブラッドリー・キャリアー（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）

受講者数：34人

② プチ体験！英語で授業（冬休み）

期 日：平成29年1月14日（土）

対 象：小学生（低学年，中学年）

内 容：歌やゲームなどの活動を通して，英語に慣れ親しんだ。

講 師：ブラッドリー・キャリアー（アメリカ出身・水戸市英語指導助手）

受講者数：24人

（エ）青少年のための国際理解講座

次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に，外国語や外国文化に触れる機会を設け，広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開講した。

① 自分の居場所の作り方

期 日：平成29年2月19日（日）

対 象：中学生，高校生

内 容：現役パティシエを講師に迎え，パティシエになろうと思ったきっかけやパティシエになるまでの経緯，フランスでの修行の体験などについての話を聞いた。

講 師：宮本 亜希子（フランス菓子 Maison Weniko オーナーシェフ）

受講者数：6人

(オ) なるほど！世界セミナー

各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の見どころなどを通じて、国際理解を深めることを目的とした講座を開催した。

① ブラジル音楽

期 日：平成28年7月24日(土)

対 象：一般

内 容：8月のオリンピック開幕を目前に、開催国であるブラジルの名曲を鑑賞しながら、ブラジル音楽の魅力や曲にまつわるエピソードをわかりやすく紹介した。

講 師：飯田 利夫(茨城放送アナウンサー)

受講者数：36人

② 華麗なるインドへの旅

期 日：平成28年11月18日(金)、25日(金)

対 象：一般

内 容：インドに造詣の深い講師を招き、インド各地の見所や食文化などの話題を通じて、国や文化への理解を深めた。

第1部(11/18)：インドは楽しい

第2部(11/25)：インドはおいしい

講 師：山田 桂子(茨城大学人文学部教授)

受講者数：44人

③ ラオスの今と不発弾

期 日：平成29年2月23日(木)、3月2日(木)

対 象：一般

内 容：ラオスに焦点を当て、歴史や文化、その社会が抱える問題などの話題を通じて、国や文化への理解を深めた。

第1部(2/23)：ラオスという国と歴史、文化

第2部(3/2)：ラオスの不発弾

講 師：蓮井 誠一郎(茨城大学人文学部教授)

受講者数：24人

(カ) ホビングリッシュ講座

「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。

① 英語で楽しく Cooking !

期 日 ; 平成 28 年 9 月 24 日 (土)

対 象 : 一般 (英語初級者向け)

内 容 : アメリカをテーマに, 同国の文化や料理の調理方法を英語で学び,
アメリカの文化や習慣について理解を深めた。

講 師 : エレナ・マックイーン (水戸市英語指導助手)

カリーナ・チュウ (水戸市英語指導助手)

受講者数 : 14 人

② 文学「チャーリーとチョコレート工場」を読もう

期 日 ; 平成 28 年 10 月 22 日 (土)

対 象 : 一般 (英語中上級者向け)

内 容 : アメリカで人気のある文学作品「チャーリーとチョコレート工場」
を題材に, 作品の舞台や概要について, 参加者同士の意見を交え
ながら英語で学んだ。

講 師 : エレナ・マックイーン (水戸市英語指導助手)

受講者数 : 12 人

イ 国際交流パーティーの開催

市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに, 交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。

(ア) お月見パーティー (ラブニールと共催)

期 日 : 平成 28 年 10 月 1 日 (土)

内 容 : お月見をテーマに日本文化 (着付け, けん玉, 書道, 折り紙, 茶道) を紹介したほか, 地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数 : 116 人 (うち外国人 49 人)

(イ) 新春パーティー (ラブニールと共催)

期 日 : 平成 29 年 1 月 21 日 (土)

内 容 : 参加外国人による各国紹介を行ったほか, 地域住民と外国人市民との交流を図った。

参加者数 : 97 人 (うち外国人 44 人)

ウ 国際理解のための外国人紹介

国際理解推進のため, 市内の学校や公的機関等が, 国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。

紹 介 数 : 10 件 (小学校 3 件, 高校 4 件, その他の公的機関等 3 件)

紹介者数 : 21 人

エ 地域との連携事業の実施

中心市街地の活気と賑わいの創出を図りながら、市民に世界の文化などに理解を深めてもらうため、地域団体等と連携・協力し、事業を行った。

(ア) グローカルフェスタ茨城 2016 (出展)

期 日：平成 28 年 5 月 14 日(土)
会 場：水戸市南町自由広場
主 催：グローカルフェスタいばらき実行委員会
内 容：国境を越えた地球規模(グローバル)と地域(ローカル)の両方の視点から、世界の様々な課題を理解し、体験する場を設け、茨城と世界をつないだ地域の活性化に寄与することを目的として開催された同事業は、「世界フェアトレード・デー」にちなみ、国際交流団体等のパネル展示、フェアトレード商品の販売を行うほか、民族楽器の演奏や武術太極拳が披露された。当協会は、協会事業を紹介する展示を行った。

(4) 外国人市民に対する支援

外国人市民や留学生に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めました。

ア 子どものための日本語ボランティア

日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、水戸市国際交流センターにおいて毎週日曜日に日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。

(ア) 子どものための日本語教室

対象児童・生徒数：14 人

ボランティア数：9 人

期 間：平成 28 年 4 月 17 日～平成 29 年 3 月 25 日(毎週日曜日及び補習日)

(イ) 日本語ボランティア学校派遣

水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を必要とする子どもを対象に、ボランティア指導者が学校へ赴き、教育課程外の時間(放課後)に日本語を指導した。

対象児童・生徒数：4 人

ボランティア数：4 人

派遣学校：浜田幼稚園、緑岡小学校、第三中学校、見川中学校

期 間：平成 28 年 4 月 21 日(木)～平成 29 年 3 月 23 日(木)

(ウ) 定例会

毎月第2木曜日に定例会を開催した。(場所：水戸市国際交流センター)

イ 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行

水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。

発行言語：ルビ付日本語版・英語版

号	内 容
2016年4・5月号	日本語表現(どうも), イベント情報, 自動車税, 在留手続, ゴミの出し方, 日本語教室情報, いろいろニッポン(水戸黄門) 等
2016年6・7月号	日本語表現(お店で困ったら), イベント情報, 梅雨, 防災情報, 児童手当・健康保険などの生活情報, いろいろニッポン(紫陽花) 等
2016年8・9月号	日本語表現(お店の人に質問), イベント情報, 花火大会特集, 日本の涼み方, いろいろニッポン(お盆) 等
2016年10・11月号	日本語表現(電車やバスで尋ねる表現), イベント情報, 行楽の秋, 保育所(園)・幼稚園などの手続き, いろいろニッポン(国民の祝日) 等
2016年12月・ 2017年1月号	日本語表現(年末年始の挨拶), イベント情報, 日本の風習〜コタツとみかん〜, 所得税(年末調整), 年末年始の病院・ゴミ・お店の営業時間, 日本語教室情報, いろいろニッポン(神社や寺院でのお参り) 等
2017年2・3月号	日本語表現(ちょっと・・・), イベント情報, 日本のマスク事情, 確定申告, 日本語教室情報, いろいろニッポン(温泉と銭湯) 等

ウ どうようサロンの開催

(ア) どうようサロンーマルチリンガル

国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第2・4土曜日などに開催した。

	期 日	参加人数
1	平成28年4月9日(土)	14人(うち外国人3人)
2	4月23日(土)	15人(うち外国人2人)
3	5月7日(土)	12人(うち外国人3人)
4	6月11日(土)	15人(うち外国人5人)
5	6月25日(土)	15人(うち外国人1人)
6	7月9日(土)	16人(うち外国人3人)
7	7月23日(土)	25人(うち外国人7人)
8	8月6日(土)	12人(うち外国人1人)

9	8月27日(土)	15人(うち外国人2人)
10	10月15日(土)	25人(うち外国人15人)
11	10月29日(土)	13人(うち外国人3人)
12	11月5日(土)	8人(うち外国人2人)
13	12月3日(土)	20人(うち外国人12人)
14	12月24日(土)	10人(うち外国人2人)
15	平成29年1月7日(土)	18人(うち外国人2人)
16	1月28日(土)	12人(うち外国人2人)
17	2月4日(土)	15人(うち外国人2人)
18	2月18日(土)	16人(うち外国人5人)
19	3月11日(土)	13人(うち外国人2人)
20	3月25日(土)	13人(うち外国人1人)
	合計	302人(うち外国人75人)

※特別企画(12/3)：「年賀状」作りを通して、外国人市民が日本の伝統文化に触れるとともに、地域住民と外国人市民とが互いの文化を共有し合う機会を提供した。

(イ) ティーパーティー

ゲストスピーカーを招いて、自国の文化等についての紹介を通して異文化理解を深めてもらうとともに、外国人市民と地域住民との交流や市民同士が情報交換することで相互理解を深める場を設けた。

	期 日	参加人数	ゲストスピーカー
1	平成28年5月28日(土)	28人(うち外国人2人)	渡邊 ロスピタ (ドイツ)
2	9月10日(土)	45人(うち外国人14人)	プラシャント・レジ (インド)
3	11月26日(土)	20人(うち外国人9人)	王 萍 (中国)
	合計	93人(うち外国人25人)	

エ 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための日本料理教室

期 日：平成29年3月18日(土)

対 象：外国人市民

内 容：春の食材を使った涼やかな料理(鮭の炊き込み寿司、揚げ出し豆腐、ほうれん草と椎茸のわさび和え、麩と三つ葉のすまし汁、桜もち)の実習を通して、日本の伝統料理に親しむとともに、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。

講 師：岡田 さかゑ(元中川学園調理技術専門学校講師)

参加者数：4人

(イ) 外国人のためのスキー体験教室（水戸市役所スキー部協力）

期 日：平成29年3月4日(土)

対 象：外国人市民

会 場：猪苗代スキー場(福島県耶麻郡猪苗代町)

内 容：雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。

講 師：水戸市役所スキー部員4人

参加者数：29人

(ウ) 外国人のための市内ウォッチング

期 日：平成29年2月5日(日)

対 象：外国人市民

内 容：日本の教育遺産として認定された弘道館や日本酒の酒蔵を見学したほか、江戸時代から商人の町として栄えた「下市地区」を散策し、水戸の歴史に触れることで水戸の良さを発見してもらうことを目的として実施した。

訪 問 先：弘道館，吉久保酒造株式会社(水戸市本町)，下市地区散策

参加者数：15人

オ 外国人のための防災対策事業

地震などの災害が発生した際、外国人が文化や習慣，言葉の違いから大きな被害を受けてしまうことを防ぐため，防災意識の啓発や防災対策事業を行った。

(ア) 防災訓練

火災，地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し，地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。

① 12月期（防災講座と同時実施）

期 日：平成28年12月10日(土)

共 催：みと男女平等参画を考える会，水戸市地域安全課，日本赤十字社茨城県支部語学奉仕団

参加者数：43人(外国人17人，日本人2人，ボランティア・市職員等15人，協会役員9人)

(イ) 防災講座（みと男女平等参画を考える会，水戸市地域安全課と共催）

東日本大震災の教訓を生かし，市民団体や水戸市と協力し，外国人市民に様々な防災対策事業を行った。

① 10月期

内 容：シェイクアウト訓練，避難所体験及び災害時の非常食などについて，
「防災ノート」を活用しながら学んだ。

期 日：平成28年10月8日(土)

共 催：みと男女平等参画を考える会，水戸市地域安全課

参加者数：32人(外国人15人，日本人1人，ボランティア・市職員等13人，
協会職員3人)

② 12月期

内 容：シェイクアウト訓練，防火シャッターを閉じてスモークマシンで煙
を発生させた状態での館内避難誘導，救助袋を使った脱出訓練，消
火訓練を行うとともに，避難所体験及び災害時の非常食(マジック
ライス，缶詰)の試食を実施した。

期 日：平成28年12月10日(土)

共 催：みと男女平等参画を考える会，水戸市地域安全課，日本赤十字社茨
城県支部語学奉仕団

参加者数：43人(外国人17人，日本人2人，ボランティア・市職員等15人，協会
役職員9人)

(ウ) 防災意識啓発事業「防災ノート」作成への協力

水戸市と市民団体「みと男女平等参画を考える会」が，協働して実施した「外国
人市民のための防災ノート」作成(改訂版)に協力した。

(エ) 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供

英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアル
の頒布を行った。(水戸市英文地図に掲載)

カ 多言語生活ガイド(リビング・インフォメーション)の提供

外国人市民の日常生活の利便性をより高め，快適で安全な生活を送ってもらうこと
を目的として，水戸市で生活する上で必要な情報を集約し，作成した多言語の生活ガ
イドを，当協会ホームページ上で公開した。

形 式：電子書籍(E-ブック)

言 語：やさしい日本語(ルビ付き)，英語，中国語，韓国語

キ 英文地図の提供

英語で表記された水戸市の地図(MITO CITY GUIDE MAP)を頒布した。

ク メール配信による情報の提供

メール配信を希望する外国人市民に対して，市内及び近隣市町村で行われるイベン
トや生活情報など，役に立つ最新情報を提供した。

配信言語：やさしい日本語(ルビ付き)，英語

対 象：外国人市民(配信希望者)

内 容：当協会実施の国際交流イベント情報(国際交流パーティー，日本文化体験教室，防災講座 ほか)，一般イベント情報(水戸つつじまつり，いばらきスイーツフェス，そ・ら・ら国際交流まつり，スマイルアースフェスティバル，夏祭り・秋祭り情報，みとまちなかフェスティバル，梅酒まつり ほか)

配信回数：26回

ケ 相談窓口の常設

国籍等を問わず，生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し，アドバイスや情報を提供した。

内 容：運転免許証の取得・書き換えに関する事，行政手続きに関する事，住宅に関する事，在留資格に関する事，国内外における投資・会社経営に関する事，労使間のトラブルに関する事，医療・社会保障制度に関する事，就職・アルバイト，日本語学習，ボランティア活動，翻訳に関する事 など

相談者数：499人(うち外国人377人)

相談件数：499件(電話・電子メール相談257件，来館相談242件)

(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化，国際交流等に関する図書，資料等を広く集め，市民や外国人に提供し，また機関紙及びホームページなどにより，情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

① 日本語版：3回発行(5月，12月，3月：各1,500部作成)

市内公共施設，姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付

5月(55号)	平成28年度の事業計画
12月(56号)	アナハイム市学生親善大使受入，水戸市学生親善大使派遣，事業報告，行事予定 等
3月(57号)	アナハイム市親善訪問団派遣，特集：アナハイム市姉妹都市締結40周年記念事業，茨城県国際化推進奨励賞受賞，事業報告 等

② 3か国語版(英語・中国語・ハングル)：年1回発行(5月：1,000部作成)

外国人市民等に配布

5月(14号)	平成28年度の事業計画
---------	-------------

(イ) 広報資料の頒布

情報発信の一環として、協会作成のクリアファイル、英文地図といった広報用資料を頒布した。

イ 図書・資料等の収集及び提供

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。

ウ パソコン等の利用・提供

情報コーナーにパソコンを設置し貸出したほか、公衆無線 LAN (Wi-Fi) を来館者に提供した。

パソコン利用：275 件（うち外国人 201 件）

Wi-Fi 利用：557 件（うち外国人 215 件）

エ ホームページ等による情報提供

当協会ホームページにおいて最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。また、ソーシャルネットワーク(Facebook) において、当協会主催のイベント情報や国際交流を問わない一般のイベント情報のほか、生活情報などを随時掲載した。

ホームページ訪問数：28,969 件

(6) 国際交流基金等の造成

市民からメモリアルプレート設置に協賛をいただき、基金の造成に努めました。

ア 一般寄付

1 件 50,000 円

(7) 国際親善姉妹都市アナハイム市交流 40 周年記念事業の開催

アメリカ合衆国アナハイム市との国際親善姉妹都市盟約締結 40 周年を記念して、両市の交流が一層深まる事業を行いました。

ア 親善訪問団の派遣（再掲）

期 間：平成 28 年 10 月 16 日(日) ～10 月 23 日(日) 8 日間

団 員 数：25 人

内 容：アナハイム市役所の表敬訪問及び市議会を傍聴したほか、アナハイム市主催の姉妹都市交流締結 40 周年記念式典及びレセプションに出席した。また、40 周年を記念して、アナハイム市内の市道が「Mito Way(ミト通り)」と命名された。

イ 日米親善ジャズコンサート「パシフィック・ショーケース」公演

期 日：平成 29 年 2 月 25 日(土)

内 容：記念事業として、アメリカ空軍太平洋音楽隊を招いて、日米親善ジャズ

コンサートを開催した。

場 所：水戸芸術館 コンサートホール ATM

共 催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

料 金：一般 1,000 円，ユース(25 歳以下) 500 円 〈全席指定〉

チケット販売数：678 枚

来場者数：606 人

ウ 記念誌「水戸市・アナハイム市 姉妹の絆の物語」の発刊

内 容：これまでの両市の交流 40 年の歩みをまとめ、記録集を発刊した。

A4 判：フルカラー 40 ページ，1 色刷り 64 ページ 計 104 ページ

発刊部数：3,000 部（両市の交流関係者等に進呈）

エ MITO インターナショナルライブラリーの開設

内 容：水戸市の国際交流事業に対する長年の活動を顕彰し，更なる国際交流の発展を祈念することを目的に，国際親善姉妹都市盟約締結 40 周年記念事業実行委員会により，国際交流センター敷地内に同施設が建設され，水戸市に寄贈された。館内には，日本や世界各国に関する書籍等が多数所蔵されているほか，アナハイム市との友好関係を振り返ることができる記念コーナーが常設された。

開 所 式：平成 28 年 12 月 21 日(水)

(8) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され，市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

区 分	件 数	人 数
国際交流関係	1,723 件	29,430 人
一 般	430 件	7,257 人
そ の 他	34 件	841 人
合 計	2,187 件	37,528 人 (うち外国人数8,804人)

開館日数：294 日

※ 空調修繕工事(2 階南側)のため，交流スペース及び情報コーナーについては，平成 28 年 9 月 22 日(木)～10 月 17 日(月)まで貸出を停止した。

(イ) センターの管理運営

① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し，使用料の徴収，貸出し備品の管理などの業務を行い，利用者に快適なサービスを提供した。

② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い，効率的・効果的な利用促進を図った。また，来館する外国人に対応するため，語学に堪能な職員を配置し，それぞれのニーズに応えられるよう努めた。

③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報，外国語の図書，日本語教育に関する教材，外国語新聞，ビデオなど国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに，来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

④ MITO インターナショナルライブラリーの管理業務

MITO インターナショナルライブラリーの蔵書登録及び貸出準備の業務を行ったほか，新施設の周知を図るとともに，必要に応じて来館者への案内業務を行うなど，同施設の利用促進に努めた。

⑤ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し，効果的な管理運営を図るとともに，利用者に対し安全で快適な環境を提供するため，施設の維持管理及び修繕を行った。

◇ 施設環境衛生管理業務

施設の美観を維持し，センターの利用者に対し快適な空間を提供するため，下記の業務を行った。

- | | |
|------------|---------------------|
| ・ 日常清掃業務 | 休館日を除く毎日 |
| ・ 定期清掃業務 | 年 2 回 <6 月，12 月> |
| ・ 害虫防除業務 | 年 1 回 <2 月> ※ 調理室のみ |
| ・ 排水設備清掃業務 | 年 1 回 <2 月> |
| ・ 植物管理業務 | 月 1 回 |

◇ 設備保守点検業務

来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令や保安規定等に基づき，またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

- | | |
|------------------|------------------|
| ・ 空調及び給水設備保守点検業務 | 年 2 回 <6 月，12 月> |
| ・ 飲料水水質検査 | 年 1 回 <3 月> |
| ・ 消防設備保守点検業務 | 年 2 回 <6 月，12 月> |

- ・エレベーター設備保守点検業務 年4回 <4月, 7月, 10月, 1月>
- ・エレベーター設備遠隔監視業務 毎日
- ・自動ドア保守点検業務 年3回 <7月, 11月, 3月>
- ・自家用電気工作物保安管理業務 隔月1回

◇ 施設警備業務

施設での盗難, 火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに, 万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により, 被害を最小限にとどめるよう, 勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り, 夜間及び休館日については, 警備会社による機械警備及び巡回警備を行った。

(ウ) 施設整備(修繕等)への対応

① 空調設備修繕工事

設備の老朽化に伴い, 2階南側(交流スペース, 情報コーナー)の空調設備の交換工事を行った。

② 自動ドア修繕工事

設備の老朽化に伴い, 1階南側(通路側)及び2階正面入口(外側)の自動ドアのエンジン装置一式の交換工事を行った。

③ エレベーター設備改修工事

水戸市国際交流センターの増築(MITO国際ナショナルライブラリー)に伴い, 既存不適格となった設備について, 建築基準法に基づき改修工事を行った。

(9) その他

ア 公益法人運営関連業務

公益法人関連三法に基づき, 次の業務を行った。

- (ア) 役員等の変更による行政庁(茨城県)への改変手続及び登記(8月)
- (イ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成27年度事業報告及び収支決算書)の提出(6月)
- (ウ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(平成29年度事業計画及び収支予算書)の提出(3月)

イ インターンシップ, 職場体験等の受入

学生等の就業意識の向上を図りながら, 当協会や国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として, 地域の学生を就業体験者として受入れた。

受入数: 4件5人(大学生1人, 高校生2人, 中学生2人)

(ア) 大学生

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科2年 女性1人

期間: 平成28年8月12日~14日, 21日, 9月7日~11日, 13日(10日間)

実習内容: 事務補助, 国際交流事業準備及び運営補助等

(イ) 高校生

大成女子高等学校 1年 女性 2人

期 間：平成 29 年 2 月 2 日，3 日(2 日間)

実習内容：日本語教室参加，国際交流事業準備，事務及び施設管理補助，
資料・図書整理 等

(ウ) 中学生

① 智学館中等教育学校 3年 女性 1人

期 間：平成 28 年 8 月 12 日，13 日(2 日間)

実習内容：日本語教室参加，国際交流事業準備，事務及び施設管理補助，
資料・図書整理 等

② 水戸市立石川中学校 2年 女性 1人

期 間：平成 29 年 1 月 27 日

実習内容：日本語教室参加，国際交流事業準備，事務及び施設管理補助，
資料・図書整理 等

ウ 視察等の受入

国際理解の促進及び国際交流活動の活性化に向けた研修などを目的とした視察研修団等を受入れた。

(ア) 古河市役所（政策企画課）

期 日：平成 28 年 4 月 13 日(水)

内 容：当協会組織及び事業概要，財団運営，施設見学など

受入人数：4人

(イ) 水戸啓明高等学校

期 日：平成 28 年 7 月 27 日(水)

内 容：地域国際交流会「外国人との地域振興プロジェクト」の授業の一環として，水戸市の多文化共生への取組みと当協会の事業について質疑するとともに，当センターを見学した。

受入人数：9人

エ 講演等の実施

国際交流に対する理解の増進を図ることを目的として，水戸市の多文化共生への取組みや課題，当協会の事業概要などについて，講演等を行った。

(ア) 智学館中等教育学校

期 日：平成 28 年 6 月 1 日(水)

内 容：水戸市における国際交流や多文化共生への取組み，当協会事業概要，
世界を舞台に働くということ

場 所：智学館中等教育学校

受講人数：52人(3年次～5年次)

(イ) 茨城大学大学院教育学研究科

期 日：平成28年6月8日(水)

内 容：「地域教育資源フィールドスタディ」の授業の一環として、水戸市における多文化共生への取組み・課題、当協会事業概要について講義した。

場 所：水戸市国際交流センター

受入人数：38人(修士課程1年)

2 組織及び運営状況

(1) 役員等について

ア 評議員体制(平成29年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
評議員	金澤 いね子	平成27年6月25日
評議員	櫻庭 紀久子	平成23年7月1日
評議員	川瀬 由紀子	平成23年7月1日
評議員	谷 萩 紀行	平成24年6月20日
評議員	西連寺 節子	平成23年7月1日
評議員	掛札 真俊	平成23年7月1日
評議員	藤城 公子	平成27年6月25日
評議員	上村 洋美	平成23年9月14日
評議員	茂木 好美	平成23年7月1日
評議員	小柴 庄一	平成27年6月25日
評議員	大高 宣靖	平成27年6月25日
評議員	幡谷 浩史	平成23年7月1日
評議員	根岸 孝雄	平成23年7月1日
評議員	瀬谷 和人	平成23年7月1日
評議員	小泉 光子	平成23年7月1日
評議員	梅林 富士夫	平成27年6月25日
評議員	森 聖治	平成27年6月25日
評議員	増子 健一	平成23年7月1日
評議員	クレイ・バッセンジャー	平成23年7月1日
評議員	朴 美貞	平成23年7月1日
評議員	岩本 郁子	平成23年7月1日
評議員	山岸 浩一	平成29年3月24日
評議員	川崎 幹男	平成26年6月19日

評議員23名

イ 役員体制(平成29年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
理事長(代表理事)	幡谷 祐一	平成7年3月24日
副理事長(代表理事)	大野 文雄	平成8年5月20日
常務理事(業務執行理事)	鈴木 重之	平成27年4月1日
理事	黒澤 輝子	平成19年4月1日
理事	村田 進洋	平成27年6月25日
理事	福島 辰三	平成27年6月25日
理事	依田 泉	平成21年4月1日
理事	秋山 高志	平成23年4月1日
理事	桂 秀明	平成19年4月1日
理事	小田部 卓	平成21年4月1日
理事	田尻 充	平成19年4月1日
理事	秋葉 宗志	平成28年6月16日
理事	本多 清峰	平成25年3月27日
理事	武田 秀	平成27年6月25日
監事	栗原 孝祐	平成19年4月1日
監事	永井 好信	平成28年6月16日

理事14名, 監事2名

ウ 役員等の異動

異動年月日	役名	氏名	備考
平成28年6月16日	理事	橋本耐	退任
平成28年6月16日	理事	秋葉宗志	就任
平成28年6月16日	監事	井坂重夫	退任
平成28年6月16日	監事	永井好信	就任
平成29年3月24日	評議員	清瀬一浩	退任
平成29年3月24日	評議員	山岸浩一	就任

(2) 議決(報告)事項

ア 評議員会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成28年6月16日	報告第1号	平成27年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第1号	平成27年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第2号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	議案第3号	公益財団法人水戸市国際交流協会監事の選任
平成29年3月24日	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任
	報告第2号	平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支補正予算
	報告第3号	平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	報告第4号	平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算

イ 理事会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成29年5月26日	議案第1号	平成27年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第2号	平成27年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第3号	平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会定時評議員会の招集
	報告第1号	業務執行状況報告

議決年月日	議決(報告)番号	件名
平成29年2月28日 (決議の省略)	議案第4号	平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会 臨時評議員会の招集
平成29年3月24日	議案第5号	平成28年度公益財団法人水戸市国際交流協会 収支補正予算
	議案第6号	公益財団法人水戸市国際交流協会給与規程の一部を 改正する規程
	議案第7号	平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	議案第8号	平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会基金の 取崩
	議案第9号	平成29年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算
	議案第10号	公益財団法人水戸市国際交流協会嘱託員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第11号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則の 一部を改正する規則
	報告第2号	業務執行状況報告

(3) 庶務事項

ア 法人登記

登記年月日	登記事項	内 容
平成28年7月25日	理事の退任登記	橋 本 耐
	理事の就任登記	秋 葉 宗 志
	監事の退任登記	井 坂 重 夫
	監事の就任登記	永 井 好 信